

アルト片手リコーダー取扱説明書

(右手用 : YRA-900R 左手用 : YRA-900L)

取扱いについて

■ 楽器を吹く前に

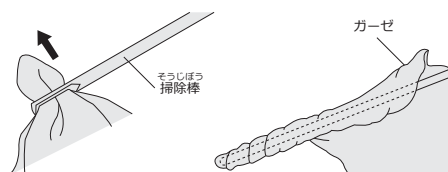
- 吹く前に手のひらなどで充分に頭部管をあためてから吹きましょう。冷えているリコーダーにあたたかい息を吹き込むと水滴がたまりやすくなります。

■ 水滴がついたら

- ウインドウエイに水滴がつまったときは、ピーツとにならないようにラビューム（窓）の部分をおさえ、強い息を吹き込みましょう。

■ 楽器のお手入れ

- 演奏が終わったら付属の掃除棒にガーゼを巻きつけて、管の内側の水分を拭き取りましょう。



- つなぎ目が固い時には、付属のコルクグリスを塗ってください。
- ラビューム（窓）のまわりは、特に音をつくる最も大切な部分ですから、特にキズをつけないように気をつけてください。
- ベックの部分は汚れやすいので、いつも清潔にしておきましょう。ただし、ベンジンやシンナーの使用や熱湯煮沸はおやめください。リコーダーが変形する可能性があります。
- 保管は直射日光やストーブ等の火気の近く、湿気の多い場所をお避けください。
- 木管割れ防止のため、新しい楽器は徐々に演奏時間をのばすように心がけてください。

■ キイのお手入れ

- ポリッシングクロス（別売）で空拭きするだけで光沢が保てます。
- 2～3ヶ月ごとにキイオイル（別売）を注し、キイを数回動かしてオイルをなじませてください。

※頭部管はアルトリコーダー YRA-302BⅢ と共通です。
別の頭部管との組み合わせ使用はやめてください。

安全のこころがけ

■ 楽器をふりまわさないでください

楽器をふりまわすと、まわりの人にケガをさせる危険があるので絶対にやめましょう。

ご相談窓口のご案内

■ 製品のご相談

機能や取扱いについては、お買い上げの特約店または下記のご相談窓口をご利用下さい。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器相談窓口

 **0570-013-808**

携帯電話、PHS、IP 電話からは下記番号におかけ下さい。

TEL : 053-411-4744

営業時間 : 月～金 10:00-18:00
土 10:00-17:00

(日曜・祝日・センター指定日を除く)

URL : <http://www.yamaha.co.jp/support/>

■ 修理のご相談

ご購入店または下記ご相談窓口をご利用下さい。

ヤマハ修理ご相談センター

 **0570-012-808**

携帯電話、PHS、IP 電話からは下記番号におかけ下さい。

TEL : 053-460-4830

営業時間 : 月～金 9:00-17:30

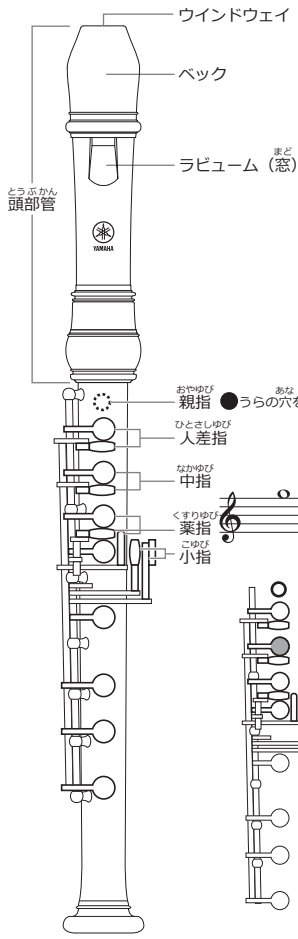
(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

※都合により住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

ひだりて よううん しひょう
左手用運指表

● キーはグレーの部分を押さえてください。

※本体をしっかりささえるとスムーズに運指することができます。

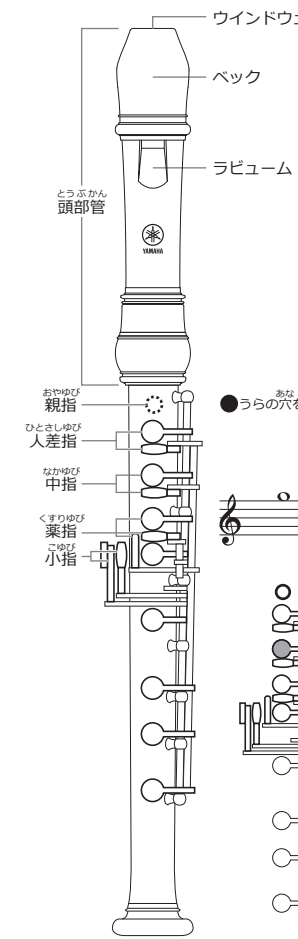


Musical notation and fingering diagrams for the left hand. The top staff shows a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, D5, E5, F5, G5, A5, B5, C6. Below each note is a diagram of the flute with black dots indicating which keys to press. The bottom staff shows the corresponding fingering for each note: C4 (thumb), D4 (index), E4 (middle), F4 (ring), G4 (little), A4 (thumb), B4 (index), C5 (middle), D5 (ring), E5 (little), F5 (thumb), G5 (index), A5 (middle), B5 (ring), C6 (little).

みぎて よううん しひょう
右手用運指表

● キーはグレーの部分を押さえてください。

※本体をしっかりささえるとスムーズに運指することができます。



Musical notation and fingering diagrams for the right hand. The top staff shows a sequence of notes: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, D5, E5, F5, G5, A5, B5, C6. Below each note is a diagram of the flute with black dots indicating which keys to press. The bottom staff shows the corresponding fingering for each note: C4 (thumb), D4 (index), E4 (middle), F4 (ring), G4 (little), A4 (thumb), B4 (index), C5 (middle), D5 (ring), E5 (little), F5 (thumb), G5 (index), A5 (middle), B5 (ring), C6 (little).